

みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち

未来へつなげよう 違いを認め合おう心～

12月4日から10日は 第71回人権週間です

昭和23年（1948年）12月10日の第3回国際連合総会で、基本的人権および自由を尊重し確保するために、世界の全ての人々と国々々が達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。この日を記念して、国際連合は12月10日を「人権デー」と決めました。

わが国では、毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、世界人権宣言の趣旨およびその重要性を広め人権尊重思想の普及高揚に努めています。

伊藤真波さん講演会

北京・ロンドンパラリンピック競泳日本代表 伊藤真波さんの講演会「あきらめない心」に参加しました。伊藤さんは中学2年の時、ある先生と出会います。その先生はサラリーマンを辞め、夢だった教師にな



りました。伊藤さんは、真面目で頑張っている先生のような人になりたいと思います。看護師を目指すようになりました。そして高校の看護科、看護専門学校に進学しました。

専門学校に通ってから、父親の乗っているバイクに興味を持つようになりしました。母親にバイクに乗っていいか相談すると、反対されました。今まで自分の好きなようにしなさいと応援してくれていたのが納得できず、反対を押し切ってバイクに乗り、通学するようになりました。看護実習最終日、伊藤さんがいつも通りバイクで通学していたところ、トラックと衝突し右腕をひかれまし

た。病院に運ばれ治療をうけましたが、医師から右腕を切断するよう促されました。伊藤さんは切断だけは嫌だと拒み続けましたが、このままでは命の危機だと言われ、右腕を失いました。

そしてリハビリの一つとして水泳を始めました。小学校の頃は苦手で休みがちだったそうですが、一生懸命水泳に励み日本代表に選出されました。そのときに、やっと母親に感謝の気持ちを伝えられたそうです。また、伊藤さんは看護師になるという夢を叶え、日本初の片腕義手の看護師として活躍されました。現在は結婚し、育児をしながら講演会などを行っているそうです。

最後にはバイオリンを演奏していただきました。

この講演会に参加して、夢をあきらめない心、感謝を忘れないことの大切さを学びました。何事も真面目に一生懸命取り組み、自分にプラスになつていくはずですよ。この講演会で学んだことを忘れず過ごしたいと思います。

人権機関有田川 島崎三枝子

人権講演会アンケートから

9月8日（日）、清水文化センターで伊藤真波さんを講師にお迎えして人権講演会を開催しました。

参加された皆さまから感想をいただいたので、一部をご紹介します。

周囲の愛情を受け、支えられながらも、困難に負けずに懸命に生きる姿に感動しました。障害の有無に関わらず、誰もが安心して暮らしていける社会にしていきたいと思っています。 50代男性

強い伊藤さんの話に感動しました。私もこれからの人生、自分のできることをしながら、明るく元気に歩んでいきたいと思いました。人のために出来ることを少しでもやっていきたい。 60代女性

お知らせ

人権特設相談所

12月19日（木）、人権特設相談所を開設します。相談は無料で、秘密は厳守されます。

●場所／金屋文化保健センター
●時間／13時～16時

■人権に関する問い合わせ

有田川町教育委員会 社会教育課
電話 22・4513
ファクス 32・4827